

広域連合だより

構成市町村 日向市 門川町 美郷町 諸塚村 椎葉村

【第44号】

令和4年11月発行
日向東臼杵広域連合
〒883-0034
日向市大字富高2192
TEL(0982)53-3401
FAX(0982)52-7889
http://hyuga-kouiki.jp/

令和3年度のごみ焼却量を報告します。

令和3年度に清掃センターで燃やしたごみは23,206 tでした。

(単位:t)



左の図は清掃センターで焼却されたごみの量の推移です。令和3年度は23,206 tで令和2年度より17 t (0.1%) 増加しています。

下の表は市町村別ごみ焼却量の推移です。令和3年度を令和2年度と比較すると、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村は減少し、日向市は増加する結果となりました。今後もごみ減量化に向けた皆様のご協力をお願いいたします。

市町村別ごみ焼却量の推移

(単位:t)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	増減
日向市	16,539	16,012	15,939	16,807	16,890	16,592	16,689	97
門川町	5,102	5,122	5,173	5,201	5,206	5,139	5,074	△ 65
美郷町	832	798	807	844	898	881	877	△ 4
諸塚村	216	211	187	185	191	194	191	△ 3
椎葉村	377	360	354	369	374	383	375	△ 8
合計	23,066	22,503	22,460	23,406	23,559	23,189	23,206	17

議会だより

令和4年第2回定例会

令和4年7月7日(木)、令和4年第2回定例会が開催されました。

副長の選任について

— 原案同意 —

現在副長に就任している黒木秀樹さんの任期が7月2日をもって満了となることから、後任の副長として引き続き黒木秀樹さんを選任することが議会同意されました。平成30年7月に就任されて以来2期目となります。



▲副長：黒木秀樹
(日向市副市長)

副長あいさつ

引き続き副長という重責を担うことになりました。これまでの経験を活かし、広域連合長の補佐役として、構成団体の皆様と一緒に広域連合の充

実、発展に努力してまいりる所存であります。どうぞよろしくお願いいたします。

第3回定例会は11月14日(月)に開催されました。内容については、次回広域連合だよりでお知らせします。会議録は広域連合ホームページに掲載するほか、広域連合事務局で閲覧できます。

広域連合議会議員名簿

令和4年7月7日現在

- 議長 黒木 高広(日向市)
 - 副議長 岩佐 祐一(門川町)
 - 議員 黒木 金喜(日向市)
 - 議員 小林 隆洋(日向市)
 - 議員 海野 誓生(日向市)
 - 議員 柏田 公和(日向市)
 - 議員 友石 司(日向市)
 - 議員 日高 和広(日向市)
 - 議員 畝原 幸裕(日向市)
 - 議員 水永 正継(門川町)
 - 議員 請閑 義人(門川町)
 - 議員 山本 文男(美郷町)
 - 議員 中嶋 奈良雄(美郷町)
 - 議員 中田 政雄(諸塚村)
 - 議員 甲斐 光徳(諸塚村)
 - 議員 岡村 正司(椎葉村)
 - 議員 椎葉 芳一(椎葉村)
- 構成市町村別 敬称略

次期最終処分場の検討状況を報告します

第4回用地選定検討委員会での

主な決定事項

令和4年3月22日に第4回用地選定検討委員会が開催されました。今回行った三次選定では、令和4年1月に行った現地踏査、概略施設配置図の作成等を踏まえたうえで、立地特性、自然環境、社会・生活環境、防災、建設適正、経済性等を考慮した総合的評価による検討を行いました。その結果、二次候補地12か所から三次候補地3か所（門川町大字門川尾末1か所、美郷町西郷田代2か所）を選定しました。

第5回用地選定検討委員会での

主な決定事項

令和4年6月1日に第5回用地選定検討委員会が開催されました。今回は三次候補地の地元地区を対象に住民説明会とアンケート調査を行うこと、最終候補地の選定方法について協議し、「総合評価」によって選定することが決まりました。

「総合評価」とは、現地調査の結果や住民説明会でのご意見などを反映させた5つの評価項目のことで、次のとおりです。

- ① 環境・騒音や振動、自然環境への影響など、周辺状況及び環境影響について。河川水質や地下水に与える影響について。
- ② 防災・自然災害による最終処分場への影響や通行

止め等の交通網の状況について。

- ③ 建設適正・造成の難易度や土砂崩れの原因となるような地層の存在など、工事のしやすさについて。
- ④ 経済性・概算工事費や維持管理費の事業費について。
- ⑤ 用地取得の見込み・地域住民の皆様からのご意見やアンケート結果などについて。

第6回用地選定検討委員会での

主な決定事項

新型コロナウイルス感染症の感染状況等の影響で、当初のスケジュールから若干の遅れが生じていますが、令和4年10月14日に第6回用地選定検討委員会が開催されました。今回は5つの評価項目による「総合評価」の結果、最終候補地として、候補地No.18美郷町西郷田代花水流地区が選定されました。

正副連合会長会議での主な決定事項

令和4年10月17日に正副連合会長会議が開催され、用地選定検討委員会からの報告を受け協議を行った結果、候補地No.18美郷町西郷田代花水流地区を最終候補地に決定しました。

今後は地元住民の皆様にも、評価の結果や施設を作ると仮定した場合の施設の配置図案などを踏まえて、複数回住民説明会を開催していく予定です。



広域連合ホームページに、これまでの選定に関する資料と併せて最終候補地の位置図を掲載していますので、ご覧ください。



日向東白杵広域連合 HP▶

最終処分場の説明会Q&A 〜皆様の質問にお答えします〜

次期広域最終処分場の三次候補地3か所の地元地区住民及び地権者を対象に説明会を開催し、そこで頂いた主な質問をお知らせします。

●説明会概要●

候補地 No.3

門川町大字門川尾末竹名地区

開催日：令和4年7月3日（日）

場 所：竹名公民館

参加者：24名

候補地 No.12

美郷町西郷田代和田・若宮地区

開催日：①令和4年7月19日（火）

②令和4年7月21日（木）

場 所：①若宮コミュニティセンター

②和田コミュニティセンター

参加者：48名

候補地 No.18

美郷町西郷田代花水流地区

開催日：令和4年8月18日（木）

場 所：花水流集落センター

参加者：30名

Q・平成17年の台風14号の大雨によって床上浸水被害を受けている。全国的にも集中豪雨による被害が多発しており、大災害が発生した際の影響を心配している。

A・日向市にある一般廃棄物最終処分場は、平成12年から第4期の埋立を開始していますが、これまでに、日向東臼杵地域に深刻な被害をもたらした大雨などの自然災害を経験しながらも健全に稼働しています。

現在、建設を計画している次期広域最終処分場は、建設地に応じた最新の技術を取り入れることで、自然災害に対しても更に安全性を高められます。

Q・集中豪雨の時など雨水の流出が増加し、河川が氾濫する危険性はないのか？

A・雨水を一時的に貯留し、下流へ少しずつ流し、用地から急な増水を防ぐ対策として、最終候補地に選定された候補地周辺の地形などに応じて、防災調整池の整備などを行います。

Q・農作物の風評被害は心配ないのか？

A・風評被害が発生しないように、施設の安全性のPRモニタリング情報の公開等により、風評被害の未然防止に努めます。

なお、現在使用している日向市一般廃棄物最終処分場周辺での風評被害の報告は受けておりません。

Q・次期広域最終処分場は何年くらい埋立てするのか？

A・処分場が満杯となる期間は、約15年と想定していますが、将来のごみの排出量の減少や社会上の制度が大きく変わることがあれば、完全に埋め立て容量を満たすまで活用するため、埋め立てる年数も変わります。

Q・埋立物の灰が舞い上がることはないのか？

A・埋立物の飛散防止対策としては、清掃センターから出る灰の中でも舞いやすいものは薬剤処理により水分を含ませてまとめられています。そして、埋め立てる際には、丁寧な覆土作業により飛散防止に努めています。

Q・埋立終了後も管理は続けるのか？

A・埋立終了後も適切な管理を続けます。
まず、処分場からの浸出水（埋立物を浸透して出てくる水）は、処理施設にて浄化させますが、埋立終了後も浸出水の水質を調査しながら、処理せずとも環境に影響を及ぼさない状態になるまで管理します。
次に土地についても、埋立が終了しても広域連合が継続して管理します。

令和3年度日向東臼杵広域連合

決算

歳入総額は6億2,967万4千円、歳出総額は6億1,564万4千円で、
差引額は1,403万円の黒字決算でした。1,403万円は全て基金に積み立てました。



～事業の実績・成果～

◆ 総務一般事務費 ◆

正副連合長会議や事務事業関係課長会等の定期的な開催、圏域住民への情報発信等により、円滑な事務運営を行いました。また、公会計に係る統一的な基準による財務書類を作成し、行財政事務の更なる健全化に努めました。

◆ 火葬場事務（斎場施設費） ◆

経年劣化による腐食や亀裂等が著しいことから、待合棟の内外壁の改修工事を行うとともに、屋外に設置してある水銀灯をLEDに取り替えました。また、待合棟改修工事に伴う待合室の利用制限があり、昨年度より待合室利用件数が減少しました。

◆ 最終処分場事務（最終処分場費） ◆

次期広域最終処分場用地選定検討委員会にて用地選定のスケジュール、必要敷地面積、対象範囲を決定しました。また、協議を重ねた結果、三次候補地3か所を選定しました。令和4年度中に最終候補地1か所を決定する予定です。

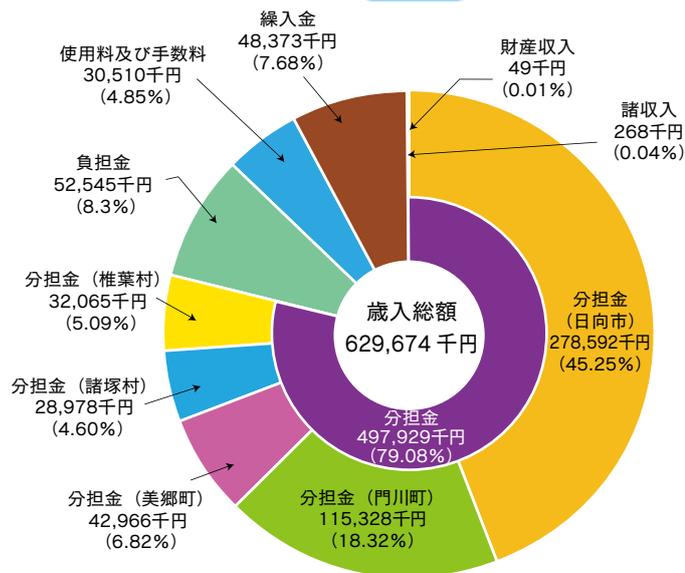
◆ ごみ処理施設事務（ごみ処理施設費） ◆

前年度と同様に、新型コロナウイルス感染症に関する事業継続のための措置としてごみ焼却運転日数を増やしたことで、電気の使用量が増加し、原油価格高騰の影響で使用料金も大幅に増加しました。

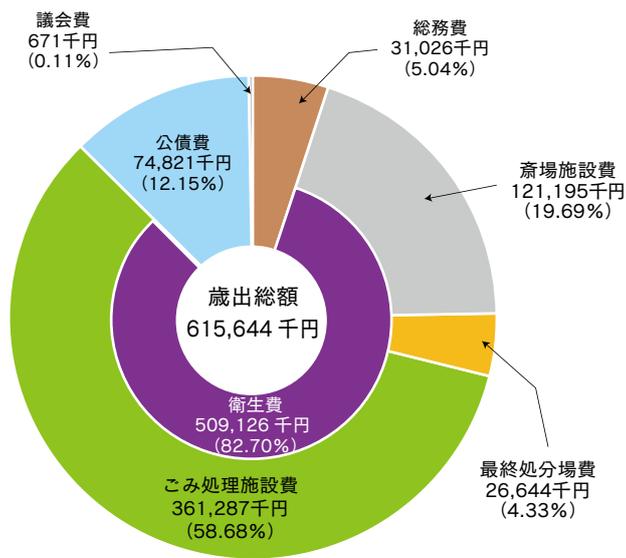
監査委員の決算審査意見書

審査に付された歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数においても正確で、令和3年度における歳入歳出予算の執行状況は、おおむね適正であると認められました。

歳入



歳出



【編集後記】

今年は、短かった梅雨が明けた直後から台風が相次いで発生し、圏域内外の各所で猛威を振りました。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。私は、我が家にて親子共々、外の轟音にブルブルと震えながら過ごしていましたが、被害も少なく乗り切ることができました。こういう時があるからこそ、日頃から備えをしておかねばと改めて感じたところですが、内心では「もう台風は来ないで！」という気持ちで一杯です。災害復旧作業などは簡単にはいかないと思いますが、一時も早く元の生活環境に戻れますよう心よりお祈り申し上げます。(O)